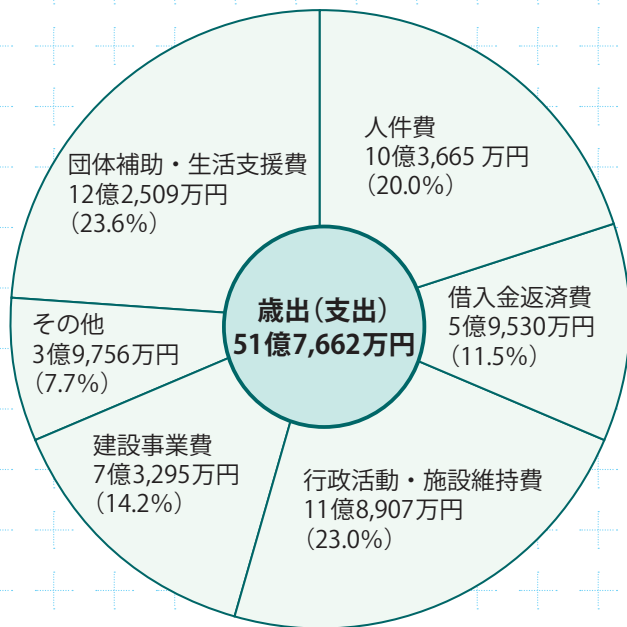
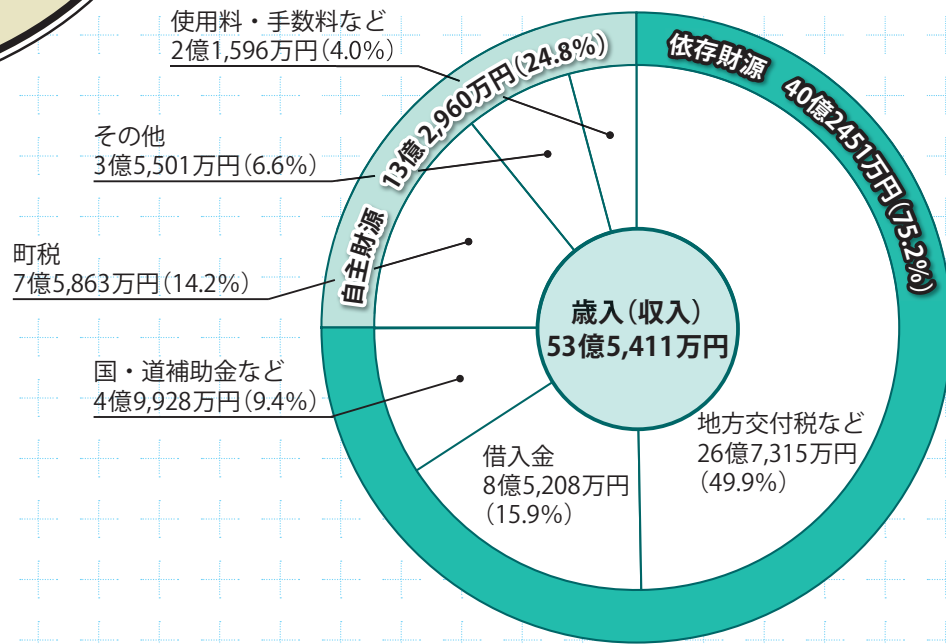


佐呂間町決算報告



【人件費】

職員給与・議会議員報酬など

【借入金返済費】

大きな事業を行うために借り入れたお金の返済

【行政活動・施設維持費】

一般行政活動を行う経費や施設などの整備に使った維持的経費

【建設事業費】

道路、公共施設、産業基盤などの整備に使った投資的経費

【その他】

一般会計から特別会計に繰り出したお金、基金の積立など

【団体補助・生活支援費】

団体への負担金や補助金、高齢者・障がい者への生活支援費

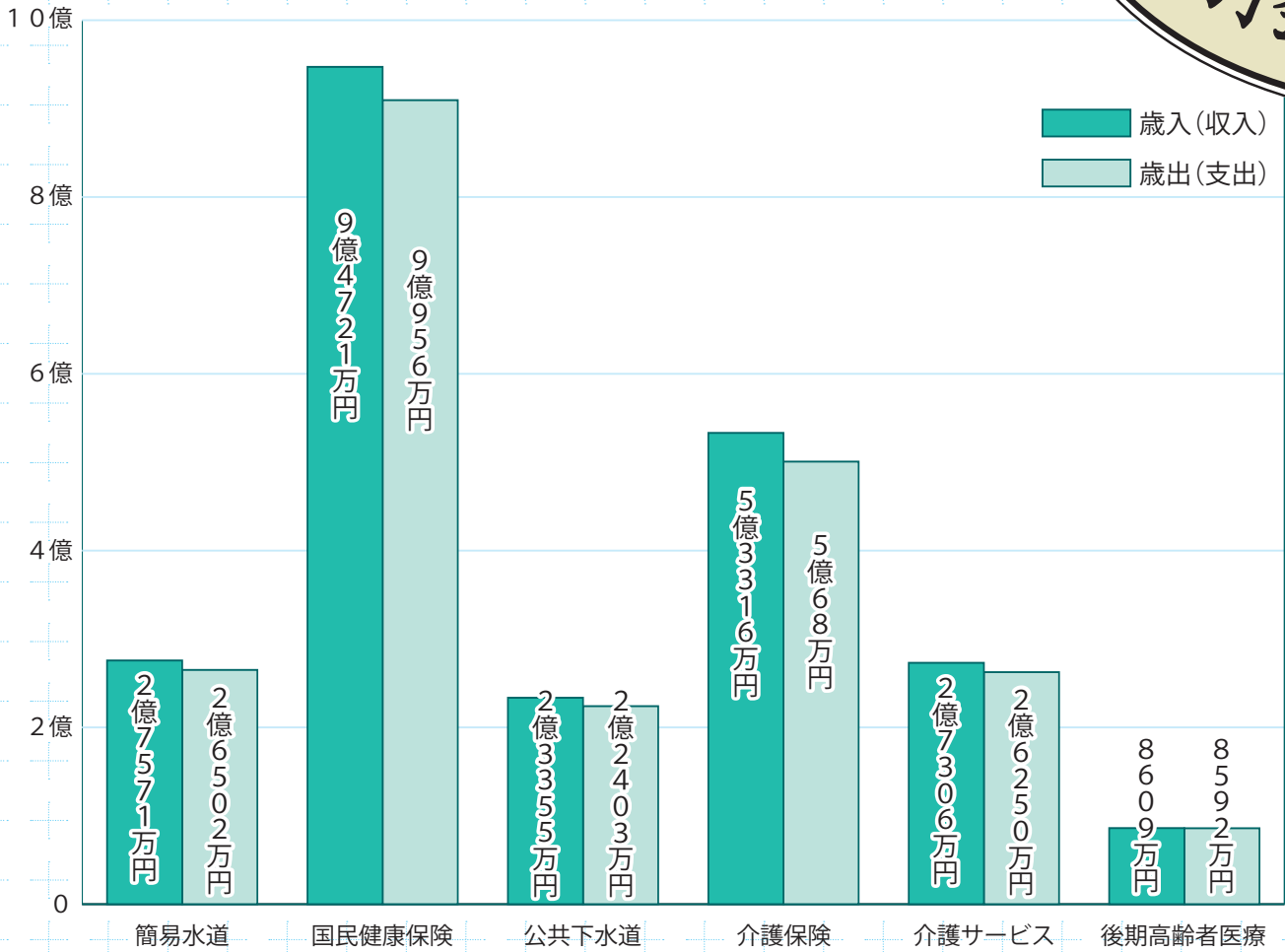
町では、皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているのかを知っていただくために、予算・決算などを基に財政状況を公表しています。

一般会計財産運営状況の概要

わが国の経済情勢は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いており、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつあります。

このような中、国の平成29年度予算は、少子高齢化の構造的な問題に正面から取り組むことにより、将来への安全を確保し、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる「一億総活躍社会」の実現に向けた取り組みを図るとし、消費や投資の拡大に結びつく経済の好循環の拡大、イノベーション等を通じた生産性の向上や供給面の取り組みにより潜在的な供給力の強化、人口減少と地域経済の縮小の悪循環の連鎖に歯止めをかける、まち・ひと・しごと創生を目指すとする一方で、「経済・財政再生計画」に基づく本格的な歳出改革の取り組みを強化するとともに、施策の優先順位を洗い出し、無駄を徹底して排除しつつ予算の重点化を図るとする基本的な考えのもとに編成されました。

このような状況下において、本町における平成29年度予算編成においても、第4期佐呂間町総合計画並びに佐呂間町地域創生総合戦略の目指す本町の自主的・主体的なまちづくりを展開していくため、将来を見据えた計画的な予算となる



基金と起債

- 基金(貯金)
53億8,065万円
- 起債(借金)
89億5,948万円

◆平成29年度決算を町民1人当たりになると...

収入	支出	貯金	借金
148万円	143万円	104万円	172万円

※平成30年3月末人口：5,198人
※特別会計決算額を含めて計算しています。

この結果、当初予算で見込んでいた財源補てんの基金繰入金はすべて減額し、最終的な余剰金として財政調整基金へ1000万円の積立てを行い、前年度繰越明許費を含めた最終予算額を53億845万円(前年度と比較して8億428万円の増額)としました。決算額については歳入決算額53億5411万円、歳出決算額51億7662万円となり、実質収支差引残額は1億7749万円となりました。

ようコスト意識を持ち、限られた財源のなかで最大の事務事業効果を発揮できるよう、国や道などの補助制度の積極的な活用と交付税措置が見込まれる有利な起債による財源確保に努め、健全な財政運営を進める一方で、町長の公約を踏まえた独自施策の積極的な展開ができる予算編成を行いました。

本年度の地方交付税総額は、臨時財政対策債を含め25億7477万円(前年度と比較して1億7300万円の減、前年度比93.7%)で、義務的経費のより一層の抑制はもとより、補助金や町債等による財源確保に努めながら、土地改良や町有林整備事業など第一次産業基盤整備をはじめ、簡易水道拡張や町道改良舗装工事などのインフラ確保事業、高齢者福祉住宅建設やICT教育環境整備事業など高齢者および教育関連整備にも取り組みました。